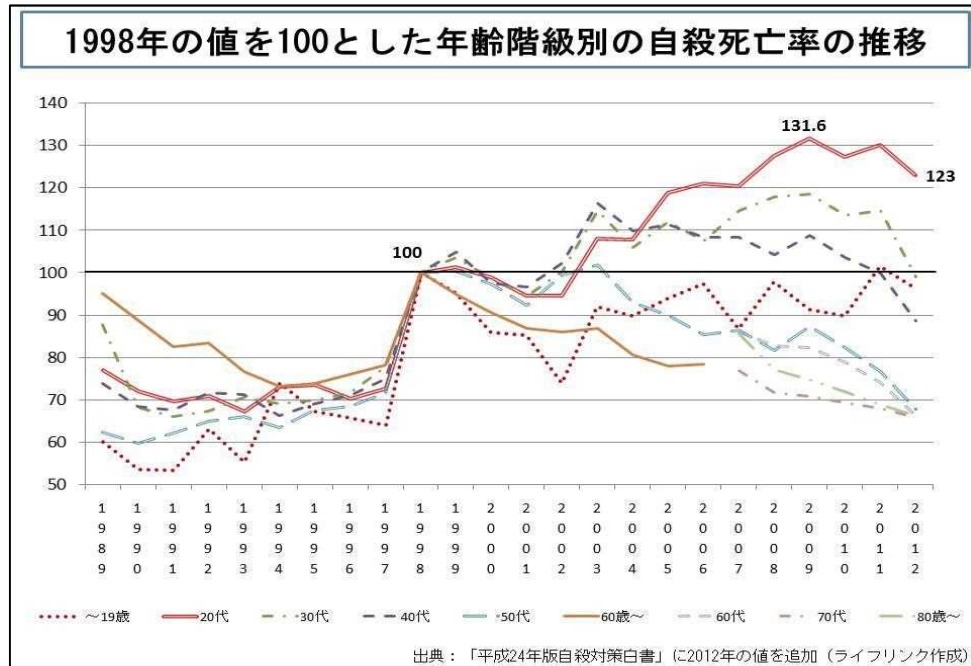


「就職活動に関わる意識調査」分析結果 記者発表資料

1) 調査実施の背景

昨年の自殺者数は前年比で9.1%減（30651人→27858人）となり、15年ぶりに3万人を下回った。20代も前年より人数は減ったが、日本の自殺が急増した1998年と比べると20代の自殺率は20%も高い（なお、20代の死因一位は自殺である。）



とりわけ深刻なのが、遺書の記述などから「就職失敗」が原因とされた20代の自殺だ。昨年は前年比で5.4%増え（141人→149人）、警察庁が詳しい自殺原因を公表し始めた5年前（平成19年＝2007年：60人）の2.5倍に上った。「就職失敗」が原因とされた学生・生徒等の自殺も、平成19年（2007年）が16人、平成23年（2011年）が52人、昨年は54人と増加し続けている。

出典：「自殺の概要資料」（警察庁／内閣府）

	「就職失敗」が原因・動機となっていた20代の自殺者数			「就職失敗」が原因・動機となっていた「学生・生徒等」の自殺者数		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
平成19年	60	51	9	16	16	0
平成20年	86	69	17	27	21	6
平成21年	122	98	24	33	26	7
平成22年	153	138	15	53	46	7
平成23年	141	119	22	52	43	9
平成24年	149	130	19	54	50	4

自殺で実際に亡くなるのは氷山の一角で、未遂者は既遂者の10～20倍にも及ぶと言われている。単純推計すれば、年間1500～3000人も20代が「就職失敗」を理由に自殺を図っていることになる。

一体なぜ、「就職失敗」を理由に自殺する若者が増え続けているのか。親世代からすれば「たかが仕事が見つからないくらい」で、なぜ自ら命を絶ってしまうのか。NPO法人ライフリンクは、その背景を探るため、今季就職活動中の学生を対象にした「就職活動に関わる意識調査」を実施した。

2) 実施主体

NPO法人 自殺対策支援センター ライフリンクが、有志の大学生及び大学院生とプロジェクトチームを結成し（2012年10月）、平成24年度東京都地域自殺対策緊急強化補助事業として実施。

PTメンバー

ライフリンク： 清水康之（PT代表）、根岸親、松谷慶子、小池亜希子

学生スタッフ： 荻野真奈美、柏原章人、北爪愛子、桑原留美、小牧奈津子、柴入長哉、高橋あすみ、
 チョ・サンフン（韓国人留学生）、松井沙斗美

3) 実施期間

2013年3月（準備は2012年10月から。4月から面接試験が本格化する前に実施。今後5～6月に比較調査を検討中。）3月は自殺対策強化月間でもある。

4) 調査方法

対象者に調査の趣旨等を個別に説明（面談もしくは電話にて）。回答してもらった調査票は、郵送もしくはメールで返信してもらった。

5) 調査対象者

昨年12月1日（大学生の就職活動解禁日）時点で、就職活動を行っていた大学生、大学院生、専門学校生。ただし、特定の学校やグループに偏らないように配慮した。

		計	男性	女性
学部	3年生	93	38	55
	4年生	7	4	3
	5年生	4	3	1
修士	1年生	14	8	6
	2年生	1	1	0
専門学校	1年生	2	0	2
		121	54	67

6) 調査票の構成 全50問（331項目）

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| i. 属性等に関するもの（1、42～50） | ii. 就職活動に関するもの（2～19） |
| iii. 働き方に関するもの（20～24） | iv. 社会や暮らしに関するもの（25～29） |
| v. 幸福度など、価値観に関するもの（30～36） | vi. 希死念慮等に関するもの（37～41） |

7) 分析方法

全項目について単純集計を行った。加えて、属性や回答群別の17グループと全331項目とのクロス集計（計5,610）を行い、さらに8設問（44項目）については設問間のクロス集計（計1,892）を実施するなど、合計7,502のクロス集計値の比較を行った。

【17グループ】◆性別◆文系◆文系×男◆奨学金有◆就活への不安有◆希死念慮有（過去/現在）◆希死念慮有（現在）◆大企業志望◆今季必ず就職◆絶対正社員×今季必ず就職◆就活への保護者の期待を感じる◆同 強く感じる◆就活に「負け」はある◆問題への対処◆友人からの情報がプレッシャー◆受験で不合格経験がある◆同居人無×相談にためらい【設問間クロス：8設問】◇就活への不安◇就活の「負け」とは「途中で諦めること」◇就職先によって人の価値は決まる◇困難、問題に直面した時の捉え方◇2週間以上続いている状態◇幸せになるために欠かせないもの◇人生の成功に欠かせないもの◇相談への躊躇い

8) 自殺に関する報道の注意点

WHO「自殺報道ガイドライン」に反する形での報道は、若者の自殺の誘因になりかねない。「写真や遺書を公表しない」「自殺手段の詳細を報道しない」「自殺の理由を単純化して報道しない」「自殺の美化やセンセーショナルな報道を避ける」こと、加えて「相談機関の連絡先を併記すること」が重要とされている。

相談機関の連絡先

電話： よりそいホットライン（24時間） 0120-279-338

ネット： いのちと暮らしの相談ナビ <http://lifelink-db.org>

9) 分析結果から浮き彫りになった「就活生の意識や実態」

▼日本社会に対する不信感が強く、防御的な反応として「とりあえずの安定」を望んでいる。

Q.25: 日本社会は、、、

- ・ いざという時に、「援助してくれる（35.0%）」VS「何もしてくれない（65.0%）」
- ・ 正直者が、「報われる社会だ（31.1%）」VS「バカを見る社会だ（68.9%）」

Q.22-1: 正社員（正規の職員）になりたいと答えた学生は96.7%（「絶対になりたい」が70.2%）。

その理由（複数回答）で最も多かったのが「正社員にならないと生活が安定しないから」で、67.5%。

その一方で、

Q.23-1: 「定年まで勤めようと考えている」学生は、20.7%に留まった。「5年以下」が16.5%。

▼社会に貢献したいという意識が強く、仕事には「給与の高さ」よりも「やりがい」を求めている。

Q6-1: 就職を希望する業界や職種が決まっている学生が、その業界や職種を希望する理由（複数選択）として最も多かったのが、「人助けや社会貢献ができる（71.6%）」。「安定した生活が保証されている」は27.5%。

Q.21: 仕事に就くうえで優先させたいものとして、「やりがい」を挙げた学生が、「時間の自由度」や「給与の高さ」を挙げた学生を大きく上回った。（「やりがい（85.8%）」VS「時間の自由度（14.2%）」、「やりがい（80%）」VS「給与の高さ（20%）」）

▼「新卒一括採用」や「不透明な選考過程」など、就職活動に対して不満を抱えている学生が多い。

Q.18-1: 就職活動について、納得できないことや不満に思うことがある学生は、74.8%。

新卒一括採用でほとんど将来が決まってしまうこと／不透明な採用方法／合格者にしか連絡がこないこと／サイレントお祈り／就活のための大学生活になってしまっている／マスメディアが就職の状況について過剰に報道すること／就職支援サイトのあおり／学生一人ひとりの人間性をもっとよく見てほしい／選考から外れるたびに自分という人格が否定されているように感じる／就職ビジネスが多すぎる／学歴差別が未だにあること／すぐに埋まってしまう説明会などの日程予約画面など

▼ただ同時に、就職活動ではじめて自分や自分の将来と向き合うきっかけになった学生も多い様子。

裏を返せば、特に熟慮せずに大学に進学し、入学後も将来のことについて話す機会が少ないのでは。

Q. 44: 大学に進学しようと思った理由は、「進学するのが当然だと思っていた」が62.0%で最多。

Q. 16: 「社会へのイメージや働くことなど、就職活動を通して変わったこと（自由記述）」として、「自分が働く姿を具体的にイメージするようになった」「自分を見つめ直すきっかけになった」などと回答する学生が目立った。

▼保護者からの期待や希望を感じている学生が多い。また、そうした学生の方が「大企業・正社員」志向が強く、就職活動を進める上での不安感も強い。

Q. 11-1: 就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じている学生は、69.2%。

			「7-1) 就職活動を進めるうえで不安はありますか。」				合計
			とても不安がある	やや不安がある	あまり不安はない	全く不安はない	
「11-1) 就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」	「とても感じる」	度数	14	9	3	0	26
		期待度数	11.1	10.5	3.5	.9	26.0
		%	53.8%	34.6%	11.5%	.0%	100.0%
	「やや感じる」+「あまり感じない」+「全く感じない」	度数	37	39	13	4	93
		期待度数	39.9	37.5	12.5	3.1	93.0
		%	39.8%	41.9%	14.0%	4.3%	100.0%
合計	度数	51	48	16	4	119	
	期待度数	51.0	48.0	16.0	4.0	119.0	
	%	42.9%	40.3%	13.4%	3.4%	100.0%	

▼知人や友人との関係に、心理的な安定／不安定が大きく依存している。

Q. 12, 13: 「友人・知人」は、「就職活動に最も役立つ情報源（121人中84人＝69.4%）」であると同時に、「もっともプレッシャーとなっている情報源（121人中62人＝51.2%）」にもなっていた。

Q. 14: 就職活動のことで相談できる相手（複数回答）で最も多かったのが「大学の友人や知人」で86.0%。次いで「家族」で47.9%。「すでに働いている友人や知人」が35.5%と続いた。

→周囲の友人が内定をもらうようになってきた時（5月以降）に追い詰められるリスクも

▼「就職活動」は、就活生にとっては不安を抱えながらの「社会へのスタート」であり、それに失敗すると「周囲から人格を否定された」と受け止めたり、「期待に応えられなかったことへの申し訳なさ」が募ったりすることがある。「自己責任」と思い込み、自分自身を責めるあまり、「たかが就職失敗」では決してすまされない状況に陥るリスクが潜んでいる。

Q. 30: 困難が生じた原因や対応は「自己責任」と考える傾向がある。

困難や問題に直面した時、どのように考えるか、..

- ・ 困難が生じた原因を、「自分の中に探る（82.5%）」VS「外部の環境の中に探る（17.5%）」
- ・ 「自分だけで解決しようとする（55.0%）」VS「誰かに頼ろうとする（45.0%）」

Q. 36: 悩みやストレスを抱えた時、誰かに相談したり助けを求めることにためらいを感じている学生は、52.5%（「とても感じる」が、11.6%。「やや感じる」が、40.5%）。

Q. 37: いま現在、本気で「死にたい」「消えたい」と考えている学生は、10.0%。「以前は考えたことがあったが、今はない」という学生も、27.3%。

10) 集計結果の抜粋（％は、すべて有効パーセント）

就職活動に関するもの（2～19）

- ① Q.4: 「大企業」が進路の第一志望の学生は、43.8%。「中小企業」は、24%。
- ② Q.5: プレエントリー数の平均は、59.2件（最多は150件）。本エントリー数の平均は、21.7件（最多は250件）。（最少は共に「0件」。公務員やアーティスト志望の学生）
- ③ Q6-1: 就職を希望する業界や職種が決まっている学生が、その業界や職種を希望する理由（複数選択）として最も多かったのが、「人助けや社会貢献ができる（102人中73人＝71.6%）」。次に多かったのは「自分の特技や専門知識が活かせる」で、40.2%（102人中41人）。「安定した生活が保証されている」が27.5%（102人中28人）と続いた。
- ④ Q.7-1: 就職活動に対して不安を抱いている学生は、83.2%（99人）。
理由（複数回答）
- ・希望する就職先から内定をもらえないのでは 62.6%（62人）
 - ・どこからも内定をもらえず正社員になれないのでは 51.5%（51人）
 - ・周囲から自分だけ取り残されてしまうのでは 41.4%（41人）
- ⑤ Q.8: 内定を得るために必要なものとして、「コミュニケーション能力や協調性」を挙げた学生が最も多く、77.7%。次いで「行動力やリーダーシップ」で、40.5%。
- ⑥ Q.9-1: 希望する就職先から内定をもらえなかった場合、「自分の希望とかけ離れていても内定先に就職する」と回答した学生（39.2%）が、「就職しない+そもそもそうした企業や団体等にはエントリーしない」と回答した学生（35.0%）を上回った。

「4）あなたの進路の第一志望は何ですか。」と「9-1）希望とかけはなれていても、内定をもらった就職先に就職するか」のクロス表

		「9-1）希望する就職先（企業や団体等）から内定をもらえなかった場合、自分の希望とかけ離れていても、内定をもらった就職先（企業や団体等）に就職すると思いますか。」				合計
		就職する	就職しない	分からない	そもそもエントリーしない	
「4）あなたの進路の第一志望は何ですか。」	「大企業」	度数 27	2	12	12	53
		期待度数 20.4	5.0	14.0	13.6	53.0
		% 50.9%	3.8%	22.6%	22.6%	100.0%
「大企業以外」	「大企業以外」	度数 18	9	19	18	64
		期待度数 24.6	6.0	17.0	16.4	64.0
		% 28.1%	14.1%	29.7%	28.1%	100.0%
合計	合計	度数 45	11	31	30	117
		期待度数 45.0	11.0	31.0	30.0	117.0
		% 38.5%	9.4%	26.5%	25.6%	100.0%

- ⑦ Q.11-1: 就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じている学生は、69.2%。

内容（複数回答）

- ・経済的な自立 59.0%
- ・大企業、有名企業への就職 37.3%
- ・給与が安定しているところへの就職 37.3%

「11-1)就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」と「7-1)就職活動を進めるうえで不安はありますか。」のクロス表

			「7-1)就職活動を進めるうえで不安はありますか。」				合計
			とても不安がある	やや不安がある	あまり不安はない	全く不安はない	
「11-1)就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」	「とても感じる」	度数	14	9	3	0	26
		期待度数	11.1	10.5	3.5	.9	26.0
		%	53.8%	34.6%	11.5%	.0%	100.0%
	「やや感じる」+「あまり感じない」+「全く感じない」	度数	37	39	13	4	93
		期待度数	39.9	37.5	12.5	3.1	93.0
		%	39.8%	41.9%	14.0%	4.3%	100.0%
合計		度数	51	48	16	4	119
		期待度数	51.0	48.0	16.0	4.0	119.0
		%	42.9%	40.3%	13.4%	3.4%	100.0%

「11-1)就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」と「4)あなたの進路の第一志望は何ですか。」のクロス表

			「4)あなたの進路の第一志望は何ですか。」		合計
			大企業	大企業以外	
「11-1)就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」	「とても感じる」	度数	18	7	25
		期待度数	11.3	13.7	25.0
		%	72.0%	28.0%	100.0%
	「やや感じる」+「あまり感じない」+「全く感じない」	度数	35	57	92
		期待度数	41.7	50.3	92.0
		%	38.0%	62.0%	100.0%
合計		度数	53	64	117
		期待度数	53.0	64.0	117.0
		%	45.3%	54.7%	100.0%

「11-1)就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」と「22-1)あなたは、正社員(正規の職員)になりたいですか」のクロス表

			「22-1)あなたは、正社員(正規の職員)になりたいですか」			合計
			絶対になりたい	できればになりたい	なれなくてもいい	
「11-1)就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」	「とても感じる」	度数	24	2	0	26
		期待度数	18.2	6.9	.9	26.0
		%	92.3%	7.7%	.0%	100.0%
	「やや感じる」+「あまり感じない」+「全く感じない」	度数	60	30	4	94
		期待度数	65.8	25.1	3.1	94.0
		%	63.8%	31.9%	4.3%	100.0%
合計		度数	84	32	4	120
		期待度数	84.0	32.0	4.0	120.0
		%	70.0%	26.7%	3.3%	100.0%

「43)性別」と「11-2)保護者から感じる期待の内容 ⑧経済的な自立」					
		「11-2)保護者から感じる期待の内容 ⑧経済的な自立」		合計	
		期待を感じない	期待を感じる		
「43)性別」	男性	度数	9	26	35
		期待度数	14.3	20.7	35.0
		%	25.7%	74.3%	100.0%
	女性	度数	25	23	48
		期待度数	19.7	28.3	48.0
		%	52.1%	47.9%	100.0%
合計	度数	34	49	83	
	期待度数	34.0	49.0	83.0	
	%	41.0%	59.0%	100.0%	

- ⑧ Q.12、13: 「友人・知人」は、「就職活動に最も役立っている情報源（121人中84人＝69.4%）」であると同時に、「もっともプレッシャーとなっている情報源（121人中62人＝51.2%）」にもなっていた。「インターネット上の掲示板・ブログ・SNS・Twitter」も同様で、「役立っている」が54人で44.6%、「プレッシャーになっている」が46人で38%。
- ⑨ Q.14: 就職活動のことで相談できる相手（複数回答）で最も多かったのが「大学の友人や知人」で86.0%。次いで「家族」で47.9%。「すでに働いている友人や知人」が35.5%と続いた。それ以外はすべて、25%を下回った。
- ⑩ Q.18-1: 就職活動について、納得できないことや不満に思うことがある学生は、74.8%。

自由記述：新卒一括採用でほとんど将来が決まってしまうこと／不透明な採用方法／合格者にしか連絡がこないこと／サイレントお祈り／「内定」を得るまでの過程がとても長いこと／就活のための大学生活になってしまっている／みんなが同じ格好をして、同じあいさつの仕方を身につけることが前提となっていること／マスメディアが就職の状況について過剰に報道すること／就職支援サイトのあおり／面接官との相性が運に左右されてしまう点／学生一人ひとりの人間性をもっとよく見てほしい／選考から外れるたびに自分という人格が否定されているように感じる／就職ビジネスが多すぎる／資金がとてつもなくかかる／学歴差別が未だにあること／リクルーターの存在／すぐに埋まってしまう説明会などの日程予約画面／など

- ⑪ Q.17: 就職活動のエピソード（自由記述）

考察： 人事や社会人の一言ひとことを、肯定的なもの、否定的なもの如何にかかわらず、まっすぐに受け止めている学生が非常に多い。「説明会で感動した」「面接官の言葉に感動して泣いた」というエピソードがあると同時に、「経験を否定された」「人間否定されているように感じた」などというコメントも目立った。社会人の些細な一言で、大きな自信を持てることもあれば、簡単に自信を失い得る様子が見取れる。

【嬉しいこと】選考時の面接で私のことを就活生の一人ではなく、個人として見てくれていることが感じられた時／企業説明会を聞いて、心から「楽しそう」「働いてみたい」と思っている自分に気がついた／自分の長所への気づき／自分の考えに賛同してもらったとき／日々将来の見通しが見えてこない中、共に頑張る友人に支えられていると実感する時／社会人や他大学の学生との出会い

【つらいこと】正解がないのが難しく、つらい／学内の企業説明会などで周りの雰囲気にもまれ、気持ち悪くなってしまった／ツイッター上でやたら就活のことをつぶやく学生がいて不快／部活の仲間と就活の話をしているとき、「自己分析が足りない」とからかわれた友達が怒ってグラスとコップを投げつけ、先に帰ってしまった。それ以来、就活の話はタブーになり、就活が終わるまでは会うのをやめようと思った／セミナー・合説に行きすぎて、体を壊してしまったこと／「そんな中小企業まで見ているの？」と言われたこと。世の中は思っていたよりも“就職偏差値”なるものを重視しているんだなと感じた／選考があまり通らないとき、本当に内定（正社員）をとる必要があるのか悩んだ。正直生き方はいろいろ。アルバイトで人生過ごしてもいいと思う。でも友人たちにそれを言うと「ありえない」と言われるのがつらい。世間体もある。社会が正社員の価値を求めるならそれからはずれたくはない／面接試験で不合格通知がきたときに「人間否定」されているように感じた／某企業から圧迫面接を受けたことがトラウマになった。

⑫ Q.19: 就職活動は～だ。この「～」を埋める言葉（自由記述）。

挑戦／自分自身の営業活動／自分さがし／人生を決める訳ではないけれど、人生を左右するもの／自己投資／リクルースタイルの演技／社会へのスタート／自己実現の為の第一歩／だましあい／おかしい現象ではあるが、文句を言っても何もならない仕方のないもの／自分との戦い／自分と会社・社会とのマッチング／運／楽しむ場／自己洗脳で乗り切るもの／狂気／自分の知らなかった大人のすごさを知る時／弱肉強食／クソ社会を知る／人生で乗り越える第一の壁／自分の居場所探し／社会人としての適正試験／忍耐／自己を磨く最大の武器／競争／自分の夢を叶えるためのきっかけ／成長できる場／個性を出せるか、ロボットになるか、人によって分かれるもの／現実を見ること／企業を気持ち良くすれば勝ち／建前と本音の間のせめぎあい／ルールがわからないまま一人で参加するゲーム／通過儀礼／かけひき／協力／他者との差別化の繰り返し／社会に対して自分を表現できる場／世の中の仕組みを学ぶこと／他人と比べずマイペースでやるもの／社会について考える機会を与えてくれるが、焦燥感を煽るもの／責任ある「社会人」となる覚悟を決める時間

働き方に関するもの（20～24）

⑬ Q.21: 仕事に就くうえで優先させたいものとして、「やりがい」を挙げた学生が、「時間の自由度」や「給与の高さ」を挙げた学生を大きく上回った。

- ・「やりがい（85.8%）」VS「時間の自由度（14.2%）」
- ・「やりがい（80%）」VS「給与の高さ（20%）」
- ・「時間の自由度（56.2%）」VS「給与の高さ（43.8%）」

- ⑭ Q. 22-1: 正社員（正規の職員）になりたいと答えた学生は96.7%。「絶対になりたい」が70.2%。「できればになりたい」が26.4%。その理由（複数回答）で最も多かったのが「正社員にならないと生活が安定しないから」で、67.5%（117人中79人）。次いで「自分の夢を実現するために必要なことから」が、29.9%（35人）。「安定した収入がないと結婚も考えられないから」が、27.4%（32人）と続いた。
- ⑮ Q. 23-1: その一方で、「定年まで勤めようと考えている」と答えた学生は、20.7%に留まった。「5年以下」も16.5%に上った。
- ⑯ Q. 24: 就職先によって人の価値が決まると答えた学生は、45.0%。

社会や暮らしに関するもの（25～29）

- ⑰ Q. 25: 半数以上の学生が、日本社会に対してマイナスのイメージを持っていた。
日本社会は、、、
- ・ いざという時に、「援助してくれる（35.0%）」VS「何もしてくれない（65.0%）」
 - ・ やり直しが、「きく社会だ（42.5%）」VS「きかない社会だ（57.5%）」
 - ・ 正直者が、「報われる社会だ（31.1%）」VS「バカを見る社会だ（68.9%）」
 - ・ 「希望を持てる社会だ（36.7%）」VS「あまり希望を持ってない社会だ（63.3%）」
- ⑱ Q. 26: 大学生生活に満足してる学生は、93.4%。「とても満足」が43%。「やや満足」が50.4%。
- ⑲ Q. 27: その一方で、身近に「こんな人になりたい」と思う大人がいる学生は92.6%に上り、日本社会の構成員に対してはプラスのイメージを持っている様子（Q. 25）。
- ・ 素晴らしい人・志の高い人が、「多くいる（85.7%）」VS「ほとんどいない（14.3%）」
 - ・ 世界に誇るべき要素が、「多くある（92.4%）」VS「ほとんどない（7.6%）」
- ⑳ Q. 28: 就職活動以外に悩んでいる事（複数回答）として多かったのが、「学業（25.6%）」と「経済的なこと（24.8%）」だった。

幸福度など、価値観に関するもの（30～36）

- 21 Q. 30: 困難や問題に直面した時のことについては比較的楽観的ではあるものの、困難が生じた原因や対応は自己責任と考える傾向。
困難や問題に直面した時、どのように考えるか、、、
- ・ 「失敗しても次はある（81.8%）」VS「失敗したら次はない（18.2%）」
 - ・ 「必ず解決策があると考え（89.3%）」VS「解決できない問題に直面したと考える（10.7%）」
 - ・ 困難が生じた原因を、「自分の中に探る（82.5%）」VS「外部の環境の中に探る（17.5%）」
 - ・ 「自分だけで解決しようとする（55.0%）」VS「誰かに頼ろうとする（45.0%）」

22 Q.31-1: 幸福度 (0~10) の平均値は、7.24。(最低は、0。最高は、10)

23 Q.36: 悩みやストレスを抱えた時、誰かに相談したり助けを求めることにためらいを感じている学生は、52.1%。「とても感じる」が、11.6%。「やや感じる」が、40.5%。

「15-1) 就職活動において「負け」は存在すると思いますか。」と 「36) 悩みやストレスを抱えた時、誰かに相談することにためらいを感じるか」のクロス表							
			「36) あなたは悩みやストレスを抱えた時、誰かに相談したり助けを求めることにためらいを感じますか。」				
			とても感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない	合計
「15-1) 就職活動において「負け」は存在すると思いますか。」	「存在する」	度数	9	33	17	7	66
		期待度数	7.7	27.0	24.2	7.2	66.0
		%	13.6%	50.0%	25.8%	10.6%	100.0%
	「存在しない」	度数	5	16	27	6	54
		期待度数	6.3	22.1	19.8	5.9	54.0
		%	9.3%	29.6%	50.0%	11.1%	100.0%
合計		度数	14	49	44	13	120
		期待度数	14.0	49.0	44.0	13.0	120.0
		%	11.7%	40.8%	36.7%	10.8%	100.0%

「7-1) 就職活動を進めるうえで不安はありますか。」と 「36) 悩みやストレスを抱えた時、誰かに相談することにためらいを感じるか」のクロス表					
			「36) あなたは悩みやストレスを抱えた時、誰かに相談したり助けを求めることにためらいを感じますか。」		合計
			「とても感じる」+ 「やや感じる」	「あまり感じない」+ 「全く感じない」	
「7-1) 就職活動を進めるうえで不安はありますか。」	「とても不安がある」+ 「やや不安がある」	度数	57	42	99
		期待度数	51.6	47.4	99.0
		%	57.6%	42.4%	100.0%
	「あまり不安はない」+ 「全く不安はない」	度数	5	15	20
		期待度数	10.4	9.6	20.0
		%	25.0%	75.0%	100.0%
合計		度数	62	57	119
		期待度数	62.0	57.0	119.0
		%	52.1%	47.9%	100.0%

「30) 何か問題に直面した時、失敗したら次はないと思うか、あると思うか」と 「36) 悩みやストレスを抱えた時、誰かに相談することにためらいを感じるか」のクロス表					
			「36) あなたは悩みやストレスを抱えた時、誰かに相談したり助けを求めることにためらいを感じますか。」		合計
			「とても感じる」+ 「やや感じる」	「あまり感じない」+ 「全く感じない」	
「30) あなたは何か問題や困難に直面した時、どのように考えることが多いですか。より近い方AまたはBに○をつけて下さい。」	(A) 失敗したら「次はない」と考える	度数	16	6	22
		期待度数	11.5	10.5	22.0
		Q30_2 の %	72.7%	27.3%	100.0%
	(B) 失敗しても「次がある」と考える	度数	47	52	99
		期待度数	51.5	47.5	99.0
		Q30_2 の %	47.5%	52.5%	100.0%
合計		度数	63	58	121
		期待度数	63.0	58.0	121.0
		Q30_2 の %	52.1%	47.9%	100.0%

希死念慮等に関するもの (37~41)

24 Q.37: いま現在、本気で「死にたい」「消えたい」と考えている学生は、10.0%。「以前は考えたことがあったが、今はない」という学生も、27.3%。

「37) あなたは就職活動を始める前、もしくはいま現在、本気で死にたい・消えたいなどと考えたことがありますか。」と「7-1) 就職活動を進めるうえで不安はありますか。」のクロス表

			「7-1) 就職活動を進めるうえで不安はありますか。」				合計
			とても不安がある	やや不安がある	あまり不安はない	全く不安はない	
「37) あなたは就職活動を始める前、もしくはいま現在、本気で死にたい・消えたいなどと考えたことがありますか。」	「以前からある」+「以前はなかったが、今はある」	度数	9	3	0	0	12
		期待度数	5.1	4.8	1.6	.4	12.0
		%	75.0%	25.0%	.0%	.0%	100.0%
	「以前はあったが、今はない」+「以前も今も、ない」	度数	42	45	16	4	107
		期待度数	45.9	43.2	14.4	3.6	107.0
		%	39.3%	42.1%	15.0%	3.7%	100.0%
合計		度数	51	48	16	4	119
		期待度数	51.0	48.0	16.0	4.0	119.0
		%	42.9%	40.3%	13.4%	3.4%	100.0%

「37) あなたは就職活動を始める前、もしくはいま現在、本気で死にたい・消えたいなどと考えたことがありますか。」と「11-1) 就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」のクロス表

			「11-1) 就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」				合計
			とても感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない	
「37) あなたは就職活動を始める前、もしくはいま現在、本気で死にたい・消えたいなどと考えたことがありますか。」	「以前からある」+「以前はなかったが、今はある」	度数	5	4	1	2	12
		期待度数	2.6	5.7	2.3	1.4	12.0
		%	41.7%	33.3%	8.3%	16.7%	100.0%
	「以前はあったが、今はない」+「以前も今も、ない」	度数	21	53	22	12	108
		期待度数	23.4	51.3	20.7	12.6	108.0
		%	19.4%	49.1%	20.4%	11.1%	100.0%
合計		度数	26	57	23	14	120
		期待度数	26.0	57.0	23.0	14.0	120.0
		%	21.7%	47.5%	19.2%	11.7%	100.0%

「37) あなたは就職活動を始める前、もしくはいま現在、本気で死にたい・消えたいなどと考えたことがありますか。」と「36) 悩みやストレスを抱えた時、誰かに相談することにためらいを感じますか。」のクロス表

			「36) あなたは悩みやストレスを抱えた時、誰かに相談したり助けを求めることにためらいを感じますか。」		合計
			「とても感じる」+「やや感じる」	「あまり感じない」+「全く感じない」	
「37) あなたは就職活動を始める前、もしくはいま現在、本気で死にたい・消えたいなどと考えたことがありますか。」	「以前からある」+「以前はなかったが、今はある」	度数	9	3	12
		期待度数	6.2	5.8	12.0
		%	75.0%	25.0%	100.0%
	「以前はあったが、今はない」+「以前も今も、ない」	度数	54	55	109
		期待度数	56.8	52.2	109.0
		%	49.5%	50.5%	100.0%
合計		度数	63	58	121
		期待度数	63.0	58.0	121.0
		%	52.1%	47.9%	100.0%

25 Q.38: 2週間以上、「疲労感」が続いている学生は39.3%、「イライラや焦燥感」が続いている学生は30.8%、「憂うつな気分」が続いている学生は28.2%。

26 Q.41: 「死んだらいろいろなことから逃れられて楽だろうな」と思っている学生は、24.2%。

属性等に関するもの(1、42~50)

27 Q.44: 大学に進学しようと思った理由で最も多かったのは、「進学するのが当然だと思っていた」で、62.0%。「勉強や研究」が46.3%、「部活動やサークル、アルバイトで大学生活を楽しむ」が32.2%と、続いた。

28 Q.50: 返済が必要な奨学金を受けている学生は、46.3%。

その他

		家族に相談		合計	
		できない	できる		
「43)性別」	男性	度数	37	17	54
		期待度数	28.1	25.9	54.0
		%	68.5%	31.5%	100.0%
	女性	度数	26	41	67
		期待度数	34.9	32.1	67.0
		%	38.8%	61.2%	100.0%
合計		度数	63	58	121
		期待度数	63.0	58.0	121.0
		%	52.1%	47.9%	100.0%

		「9-1)希望する就職先(企業や団体等)から内定をもらえなかった場合、自分の希望とかけ離れていても、内定をもらった就職先(企業や団体等)に就職すると思いますか。」				合計	
		就職する	就職しない	分からない	そもそもエントリーしない		
「15-1)就職活動において「負け」は存在すると思いますか。」	「存在する」	度数	33	5	16	12	66
		期待度数	25.9	6.1	17.1	17.1	66.0
		%	50.0%	7.6%	24.2%	18.2%	100.0%
	「存在しない」	度数	14	6	15	19	54
		期待度数	21.2	5.0	14.0	14.0	54.0
		%	25.9%	11.1%	27.8%	35.2%	100.0%
合計		度数	47	11	31	31	120
		期待度数	47.0	11.0	31.0	31.0	120.0
		%	39.2%	9.2%	25.8%	25.8%	100.0%

		「11-1)就職活動に関して、保護者からの期待や希望を感じますか。」				合計	
		とても感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない		
「4)あなたの進路の第一志望は何ですか。」	「大企業」	度数	18	23	8	4	53
		期待度数	11.3	25.4	10.4	5.9	53.0
		%	34.0%	43.4%	15.1%	7.5%	100.0%
	「大企業以外」	度数	7	33	15	9	64
		期待度数	13.7	30.6	12.6	7.1	64.0
		%	10.9%	51.6%	23.4%	14.1%	100.0%
合計		度数	25	56	23	13	117
		期待度数	25.0	56.0	23.0	13.0	117.0
		%	21.4%	47.9%	19.7%	11.1%	100.0%